

TOKYO働き方改革宣言

従業員が、日々の業務にまい進するだけでなく、充実した人生を過ごすためにワークライフバランスの推進を目指し働き方改革と休み方改革を推進します。

平成28年12月16日

株式会社 シュヴァン

目標

《働き方の改善》時間外労働時間の前年比5%減を毎年目標とします。

《休み方の改善》これまでの年次有給休暇に加えて、新たな休暇制度や柔軟な運用等により選択肢を増やしたことから、毎年の年次有給休暇取得率を55%以上とします。

取組内容

《働き方の改善》①終業時間に声を掛け合うなど時間の区切りの徹底を図ります。
②柔軟な労働時間制度(フレックスタイム制)を導入し運用します。
③管理者から率先して時間外を減少させる取組みを実践します。

《休み方の改善》①管理者が率先して休暇を取得するなど、より一層休みやすい職場環境の改善に努めます。
②年次有給休暇の半日単位、時間単位での取得が可能となる制度を整備し運用します。
③創立記念日休暇、年末年始連続休暇を5日から6日連続にするなど休暇制度の充実を図ります。